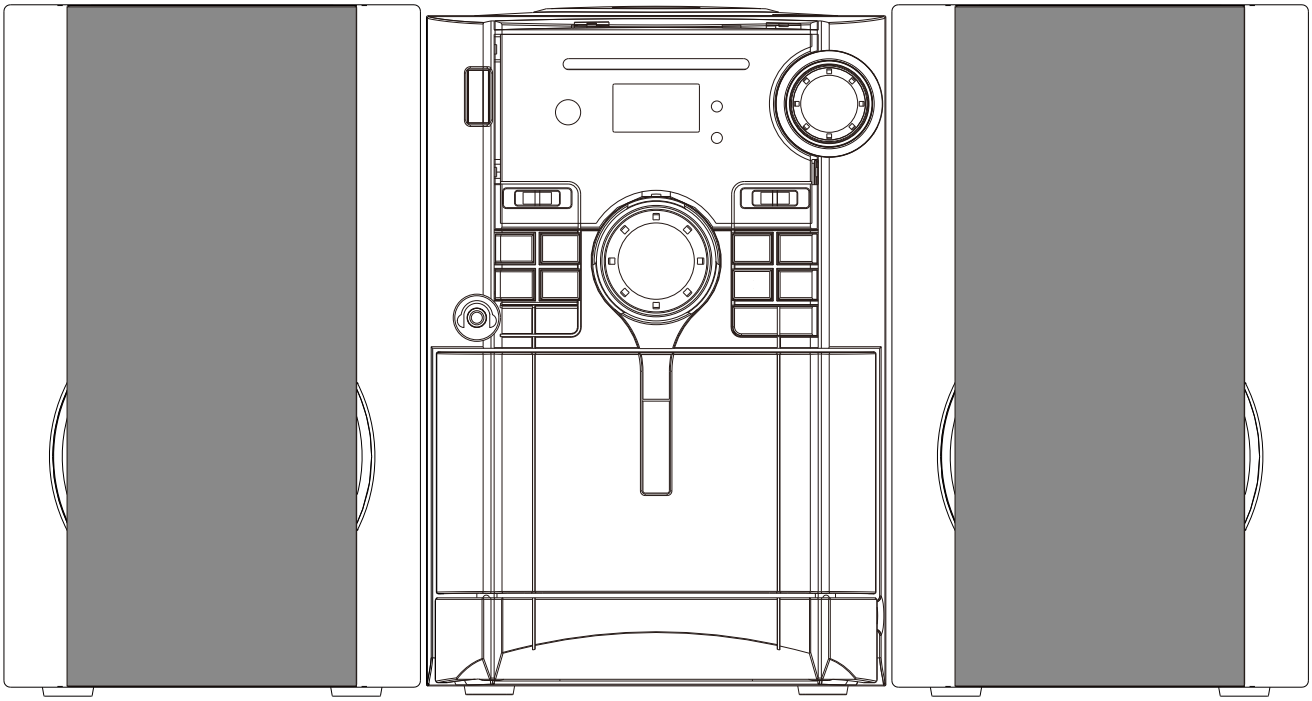
取扱説明書

Bearmax

DVDミニコンポシステム

商品型番：**M789A**（エムセブンハチキュウエー）



お買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

株式会社クマザキエイム

安全上のご注意

電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。
ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり、必ずお守りください。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を示すために、「警告」と「注意」に区分しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

△ の記号は「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。

⃠ の記号は「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

● の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

●100V以外禁止
交流100V以外の電圧では使用しないでください。
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントを抜いてください。

●電源コードを傷つけない
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

●分解禁止
この機器を開けたり、改造しないでください。
火災・故障の原因になります。

●禁止
DVDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

●水ぬれ禁止
近くに水の入った花瓶などを置かないようにし、水がかかるような場所では使わないでください。
水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。

●禁止
内部に小さな金属類（ヘアピンなど）や燃えやすいものをいれないでください。
火災・感電の原因となります。

●ぬれ手禁止
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。
感電する恐れがあります。

●本体の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となる場合があります。

●点検・修理
万一、本体を落としたり、キャビネットを破損した場合は、点検修理を依頼してください（有料）。
そのまま使用すると火災等の原因となります。

●乾電池は同一の新品を使用
仕様の異なる電池や使用した電池を混ぜて使用すると、液漏れにより汚損や故障の原因になります。

⚠ 注意

●ぐらついた台や傾いた所に置かない
落下し、ケガ・故障の原因になります。

●温度の異常に高い場所で使用しない
通風孔をふさぐと内部温度が上昇し、火災・故障の原因になることがあります。

●調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や油煙や湯気が当たるような場所に置かない
火災・感電・故障の原因になることがあります。

●駐車中の自動車内など、高温になる場所で保管しない
樹脂部品の変形の原因になります。

●電源コードをコンセントから抜く
長期間ご使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

●乾電池を取り出す
長期間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
万一の液漏れによる故障を防ぎます。

●電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。

ご使用の前に

本機の概要

●本機は以下のディスクおよび音楽ソースに対応しています。
但し、記録方式によって再生できない場合もあります。
・DVD（片面/両面）（一層/二層）
・CD、VCD
・ラジオ
・カセットテープ

本機で再生できるディスクの種類

●本機は以下のディスクを再生できます。

DVDビデオ	DVD-R	DVD-RW
ビデオCD	CD	MP3

※ビデオモードで記録したDVD-RWディスク（Ver1.1）・DVD-Rディスク（Ver2.0）は再生可能です（ピックアップの状態、ご使用のディスクとプレーヤーとの相性によって、再生できない場合があります。またビデオレコーディングフォーマットで記録したディスクは再生できません）。
※CD–R・CD–RW・DVD-R・DVD-RWに記録されたディスクの再生は、ディスクの品質、記録状態、録音環境により再生できない場合があります。
※CPRMには対応しておりません。
※コピーガード付きのディスクは、再生できない場合があります。

●DVDビデオのリージョン番号について（地域番号）
・発売地域ごとにDVDビデオのソフトと再生機器に割り当てられた番号をリージョン番号と呼びます。（本機のリージョン番号は「2」です。）
・本機は「2」、「ALL」、「2」を含むものが表示されたDVDビデオを再生できます。

●本機で再生できないディスク
・本機ではDVD-ROM、DVD-RAM、DVD-Audio、CPRMを記録したディスクは再生できません。

●コピーコントロールCD
・本機では音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証はできません。

●JPEGの再生
・JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式の一つです。本機ではCD-R、CD-RW記録されているJPEGファイルを再生することができます。
（記録方式によって再生できない場合があります。）
・JPEGファイルには“.jpg”“.JPGの拡張子がつきます。

●MP3の再生
・MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー3という形式で圧縮した音楽データです。
・可変ビットレートには対応していません。
・“mp3”または“MP3”の拡張子がついていないファイルは再生できません。

DVD・CDに表示されているマークについて

●本機のDVDプレーヤーはDVDフォーマットに準拠したマクロビジョン方式のコピーガードに対応しています。
マークは、DVDビデオディスクの統一マークです。
DVDは商標です。

マークは、音楽用CDの統一マークです。
ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

●アングル
複数台のカメラで撮影したソフトを再生する時にアングルを変えて見ることができます。
中の数字はアングル数を表しています。

●ディスクに関する用語について
一般にDVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと、「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD/音楽用CDは「トラック」で区切られています。

【タイトル】
DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
【チャプター】
タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
【トラック】
ビデオCD/音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。
それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。ディスクによっては各々の番号が記録されていないものもあります。

ご使用の前に

本機の取扱いについて

・極端な湿度、日差しの強い場所には放置しないでください。
・窓を閉め切った自動車内での放置はしないでください。
本機の変形や、ディスプレイが故障する原因となります。
また、0度以下、40度以上になると、液晶ディスプレイの
映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
常温に戻ると回復します。(使用温度の目安:0℃～40℃)

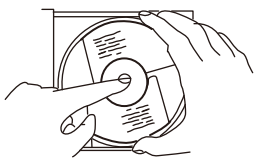
結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、
急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ(結露)、
本機の性能を発揮できなくなることがあります。このような場合は、
1時間ほど放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

ディスク取扱い上のご注意

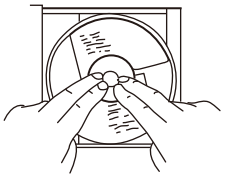
●ケースからの出し入れかた

センターホルダーを押さえ



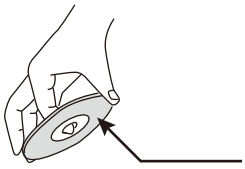
再生面に触れないように
持って取り出します。

印刷面を上にして



上から押さえて入れます。

●ディスクの取扱いかた
再生面には手をふれないでください。



●ディスクの保管のしかた
・直射日光の当たる場所や、温度の高い場所、湿気やほこりの
多い場所には保管しないでください。
・ディスクは必ずケースに入れて保管してください。
●本機を持ち運びするとき
・ディスクを必ず取り出してください。
・本機に入れたまま持ち運びすると、ディスクに傷をつけたり、
故障の原因になります。

使用上のご注意

●ディスク
・ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像のみだれや
音質低下の原因となります。柔らかい布で、放射状に軽く拭き
取り、いつもきれいにしておいてください。
・シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、
静電気防止剤などは使用しないでください。ディスクを痛める
原因となります。
・再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないで
ください。

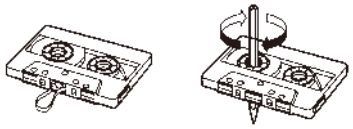
・ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

・ディスクに下記のマークの入ったものをご使用ください。

・ハート形や八角形などの特殊形状のディスクは使用しないで
ください。故障の原因となります。

・再生中、ディスクはプレーヤー内で高速で回転しています。
ひび割れや変形したディスク、またはテープや接着剤で補修した
ディスクなどは危険ですから絶対に使用しないでください。

●カセットテープ
・再生中に音が鈍くなったときは、まれに酸化物や異物がテープに
付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングテープの
ご使用をおすすめします。その際、磨耗を起こす恐れがありますので、
使いすぎにはご注意ください。
・先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。
・テープが緩んでいるとからまり、テープを損傷するおそれがあります。
図のように鉛筆などで直してからご使用ください。



・テープの巻きつきがきついと感じるときは、テープの窓に線が詰まって
いるように見えます。そのときは、一度テープを早送りして巻き戻しして
ください。
・テレビやスピーカーなど、磁気のそばにテープを置かないでください。
磁気はテープの感度を下げ、録音を消すおそれがあります。
・温度や湿度が高いところや、ほこりが多い場所には長時間放置しない
でください。
・TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム/ハイポジション、
メタルテープは使用できません。
・誤消去防止
ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまう
ミスが防げます。穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音ができ
ます。
・60分を超えるテープは使用しないでください。テープが機械に巻き
込まれる場合があります。

もくじ

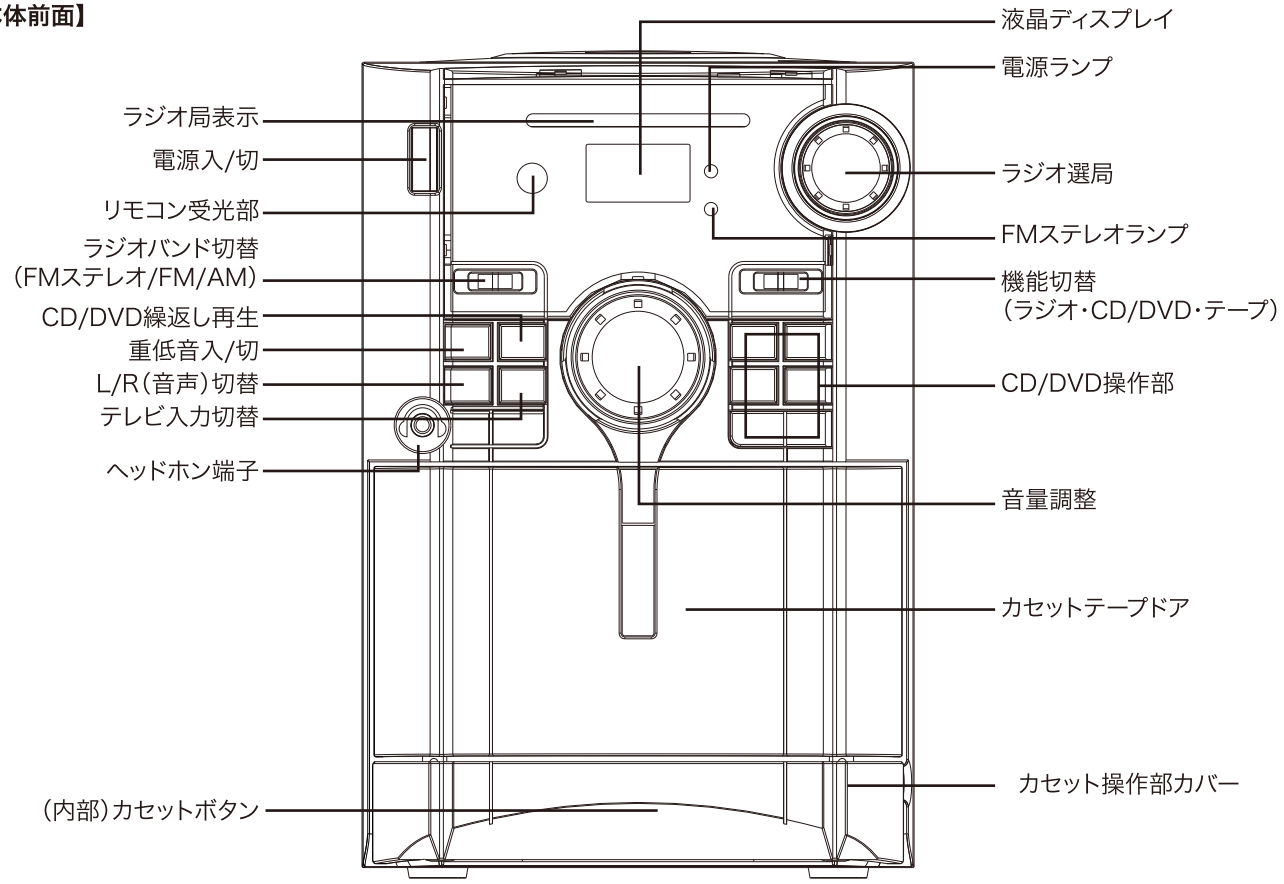
安全上のご注意 ---------- 2
ご使用の前に ---------- 3/4
もくじ ---------- 5
主な仕様 ---------- 5
各部の名称
　一本体部 ---------- 6
　一リモコン部 ---------- 7
接続するには ---------- 8
基本操作 ---------- 9
DVD/CDを再生するには ---------- 10/11
ディスクを再生する
　MP3を再生するには ---------- 12
　写真データ(JPEG)を再生するには ---------- 12
　写真／音楽／動画ファイルが混在したディスクを再生するには ---------- 13
初期設定 ---------- 14/15
テープを聴く／録音する ---------- 16
ラジオを聴く／録音する ---------- 17
故障かな?と思ったら ---------- 18/19
お手入れのしかた ---------- 19
保証書とアフターサービス ---------- 20

主な仕様

電源:	AC100V 50/60Hz
消費電力:	23W
実用最大出力:	2W+2W
スピーカーインピーダンス:	4Ω + 4Ω
受信周波数:	FM;76~108MHz(TV1～3ch)　AM;522~1629kHz ※2011年 地上アナログ放送終了後は、TV音声の受信は出来ません。
出力端子:	スピーカー接続(L/R) 音声出力(L/R;RCAピンジャック) コンポジットビデオ出力(RCAピンジャック)X2 ヘッドホン出力(3.5mmミニジャック)
入力端子:	マイクロホン入力(3.5mmミニジャック)
周波数特性:	DVD／CD;20Hz~22kHz, カセットテープ;125Hz~6.3kHz,　ラジオ;80Hz~6kHz
最大外形寸法／質量(約):	プレーヤー部;幅148 × 奥235 × 高220mm／2.2kg スピーカー部;幅130 × 奥153 × 高218mm／0.7kg
付属品:	リモートコントローラー、AVケーブル、取扱説明書(本誌)

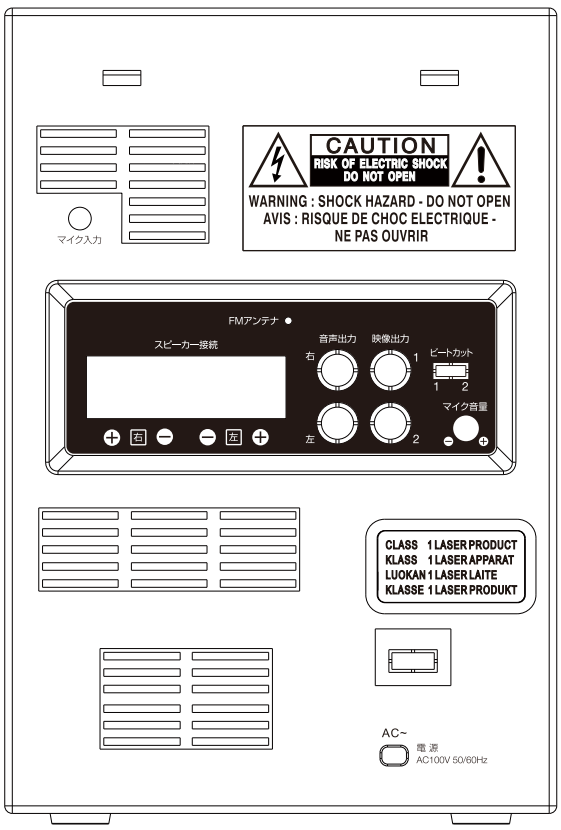
各部の名称　—本体部—

【本体前面】



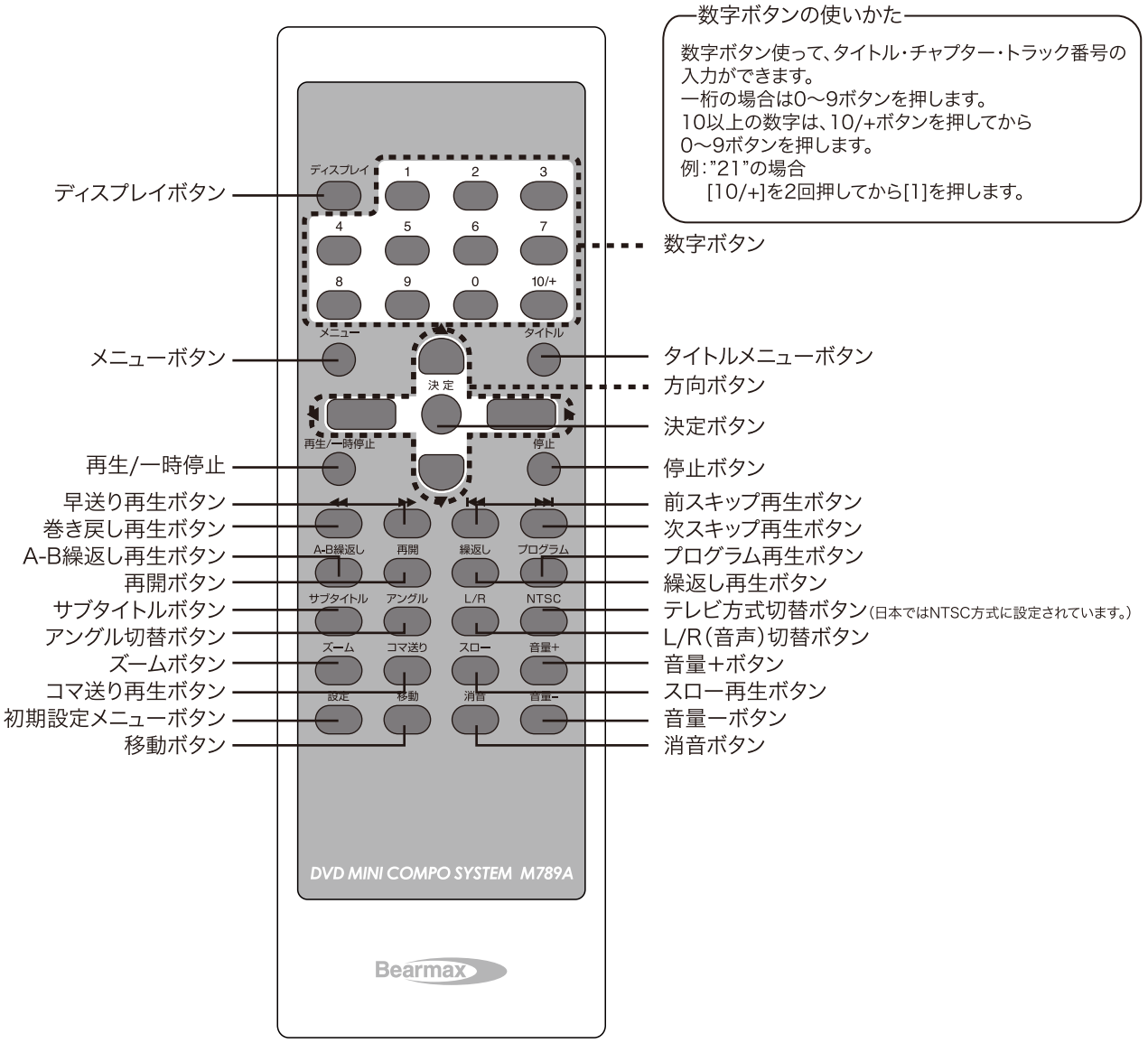
【本体上面】

【本体背面】



各部の名称　—リモコン部—

＊付属のリモコンはディスク操作専用です。テープ・ラジオにはお使いいただけません。

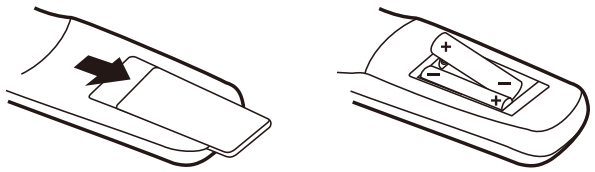


乾電池の入れ方

① リモコンの裏面にある電池ケースカバーを、矢印の方向に引きます。

② 単４乾電池２本を、＋プラス/ーマイナス表示のとおりに入れます。

③ 電池ケースカバーを元に戻します。



リモコンの使い方

・リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
・リモコンセンサーの受光範囲は、本体のリモコン受光部より6mです。

ご注意

※ 乾電池は、＋プラスとーマイナスの向きを間違えないように正しく入れてください。

※ 乾電池は必ず新しいものをご使用ください。

※ 新しい乾電池と何回か使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

※ 種類の異なる乾電池（メーカーや品番が異なるもの）を混ぜて使用しないでください。

※ 乾電池には充電式と充電式でないものがあります。乾電池の注意表示をご確認ください。

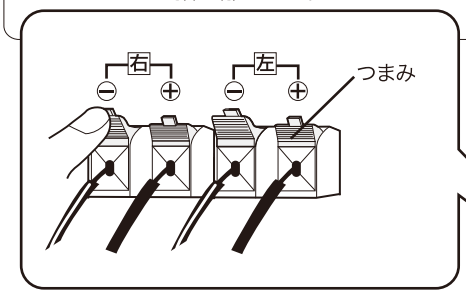
※ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出してください。万一、乾電池から液漏れが起こった場合は、電池ケースについた液をよく拭き取り新しい乾電池を入れてください。液漏れ後の放置時間によって内部が故障する恐れがあります。

※ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

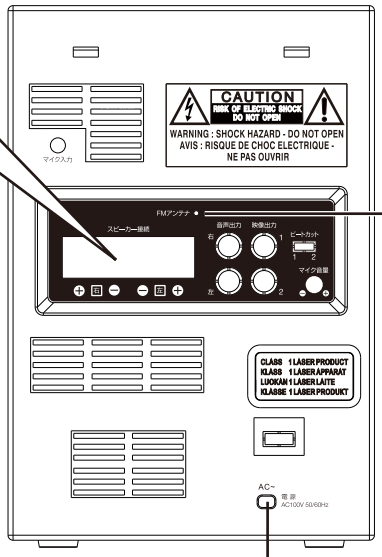
接続するには

本体のセッティング

1. 付属の左右のスピーカーを接続します。本体背面にある端子のつまみを押しながら、右左を間違えないよう赤／黒それぞれのケーブルを差し込んだ後、つまみから指を離します。



【本体背面】

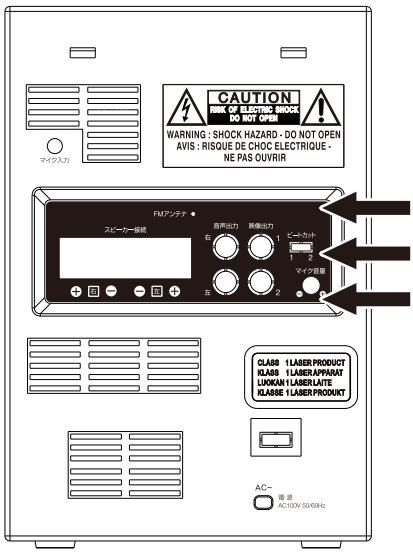


3. FMアンテナを伸ばし、受信感度の良い方向に合わせます。

2. 電源コードをAC100Vコンセントへ繋ぎます。

外部機器へ映像・音声を出力する

【本体背面】

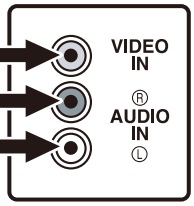


AVケーブル（付属品）

（黄）映像出力端子へ
（赤）右音声出力端子へ
（白）左音声出力端子へ

映像・音声**出力端子**

（黄）映像入力端子へ
（赤）右音声入力端子へ
（白）左音声入力端子へ



テレビあるいは
ステレオ機器の**入力端子**

※モノラルテレビに接続するときは、右音声ケーブル（赤色）を接続する必要はありません。

基本操作

電源の入/切

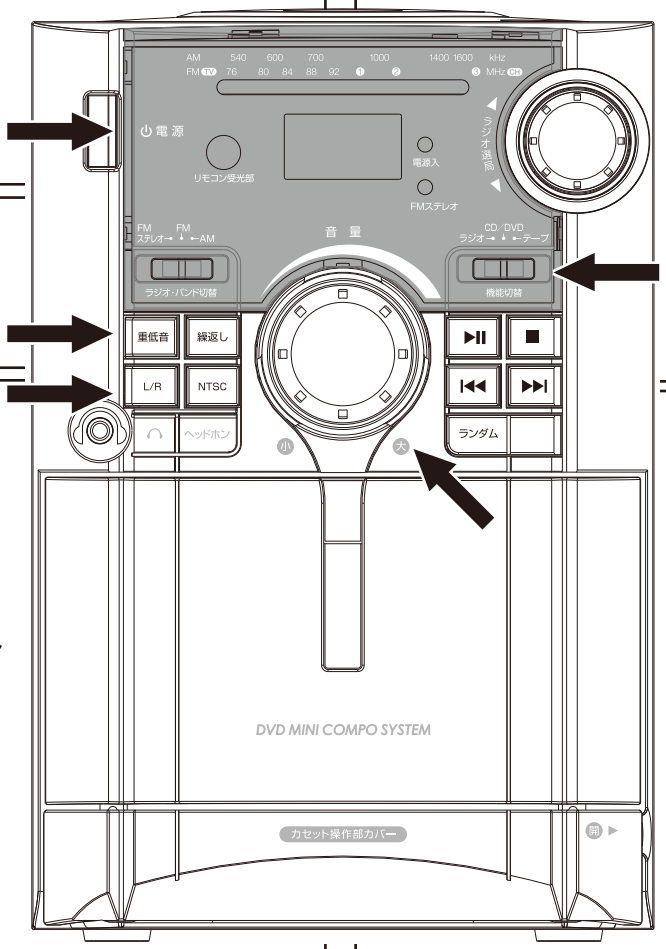
[電源]ボタンを押してください。

機能の切替

「ラジオ」
「CD/DVD」
「テープ」
に切り替わります。

重低音の調節

重低音の入り切りが
できます。



[L/R]ボタンを押すたびに

【DVDの場合】
オーディオ出力チャンネル
を順に選択して、
音声の切替ができます。

【CDの場合】
「左側モノ音」
「右側モノ音」
「ステレオ」
に切り替わります。

[音量]ツマミを
時計回りに回すと
音量が大きくなります。

音声の切替

音量の調節

ディスクの再生

繰返し再生 [繰返し]

再生/一時停止 [▶II] [■] 停止
再生中に押すと一時停止
1回押すと仮停止、2回続けて押すと本停止。

前スキップ再生 [I◀◀] [▶▶I] 次スキップ再生

[ランダム] ランダム再生

ヘッドホンを使う

ヘッドホン(市販品)を本体前面の
ヘッドホンジャックに差してお使いいただけます。

3.5mmステレオミニプラグ対応

ヘッドホン

DVD／CDを再生するには

＊付属のリモコンはディスク操作専用です。
テープ・ラジオにはお使いいただけません。

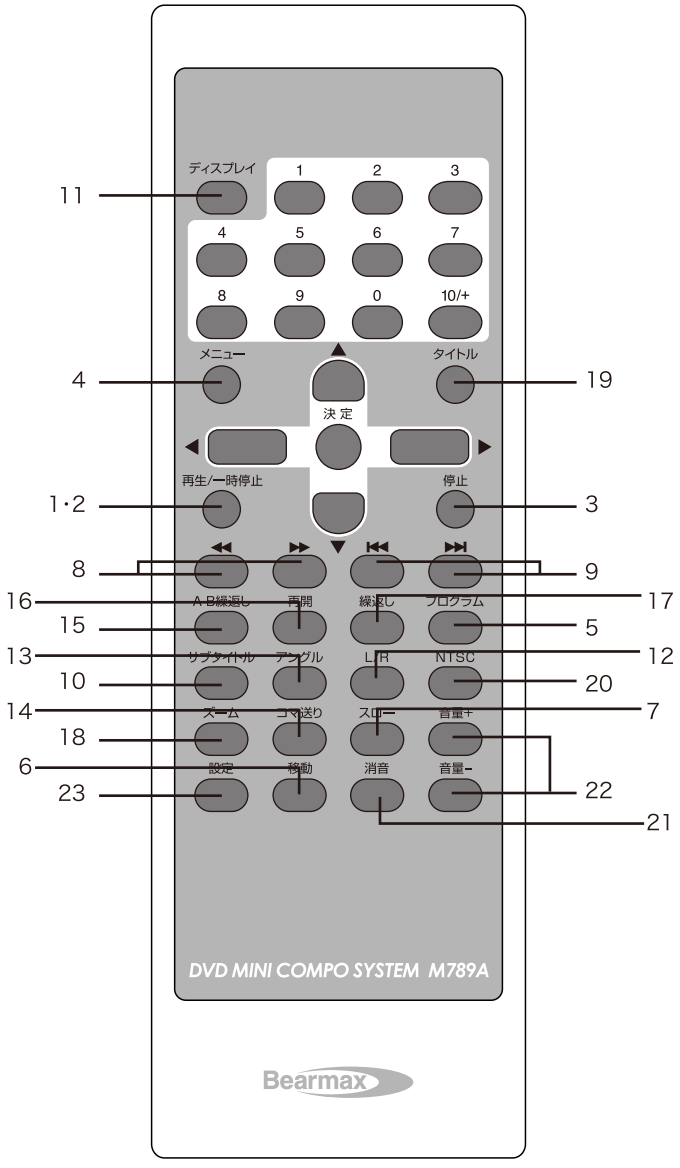
DVD/CDを再生するには

① 本体前面の[機能切替]スイッチを[CD/DVD]に合わせます。
② ディスクドアの[押す]を押してディスクドアを開きます。
③ ディスクを「パチッ」と音がするまではめてセットし、ディスクドアを閉じます。
④ テレビ画面に「読込」（本体ディスプレイには“CL”）が表示され、自動的に再生が始まります。

ご注意

・誤った操作やディスクによって禁止されている操作をした時は、テレビ画面に“入力無効”が表示されます。
・ファイナライズ処理されていないDVD–R/RWは再生できません。
・VRモードで録画されたDVD–RWは再生できません。

リモコンでの操作



1. ディスク再生

停止中に［再生］ボタンを押すと、DVD/CDが再生されます。

2. 一時停止

① 再生中に［一時停止］ボタンを押すと一時停止します。
② もう一度押すと、再び再生が始まります。

3. 停止

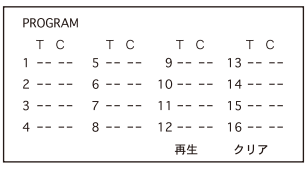
① 再生中に［停止］ボタンを1回押すとディスクが停止します。
［再生］ボタンを押すと停止したところから再生を始めます。
②［停止］ボタンを2回押すと本停止になります。［再生］ボタンを押すとディスクの最初から再生を始めます。

4. DVDメニュー再生

① ［メニュー］ボタンを押し、DVDのメニューを表示させます。
② リモコンの［方向］ボタンでお好みのメニューを選択します。
③ ［再生］ボタンもしくは［決定］ボタンを押すと、再生を始めます。

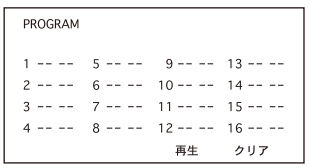
5. プログラム再生

① ［プログラム］ボタンを押すと下図がテレビ画面に表示されます。



DVDの場合

VCD/CDの場合



② リモコンの［方向］ボタンで設定したい再生順番号に移動させます。
③ ［数字］ボタンで再生したいタイトルとチャプター（VCD/CDの場合はトラック番号）を入力します。
④ ［方向］ボタンで「再生」に合わせ、［決定］ボタンを押します。
⑤ 入力した順番で再生を始めます。

6. 移動再生

お好みのタイトル/チャプター/トラック/再生時間へ移動して再生します。
① ［移動］ボタンを押すとサーチ画面が表示されます。
② 左右の［方向］ボタンでタイトル/チャプター/トラック/再生時間を選びます。
③ ［数字］ボタンで移動したい数字を入力します。
④ 決定ボタンを押すと、入力した設定から再生を始めます。

7. スロー再生*

再生中に押すとスロー再生をします。
押すたびに1/2～1/7のスピードで再生に切り変わります。

8. 早送り／巻戻し再生

① 再生中に押すと、早送りもしくは巻戻し再生をします。
② 押すごとに、２・４・８・20倍の早さに変わります。
③ 早送りもしくは巻戻し中に[再生]ボタンを押すと、通常の再生モードに戻ります。

9. スキップ

再生中もしくは一時停止中に、前後いずれかの［スキップ］ボタンを押すと、前もしくは次のトラック（またはチャプター）にスキップして再生をします。
※記録状態によってスキップできないディスクがあります。

10. サブタイトル*

［サブタイトル］ボタンを押すごとに字幕の切替ができます。

11. 画面表示

【DVDの場合】
① [ディスプレイ］ボタンを1回押すと、再生中のチャプター/タイトルが表示されます。
② もう一度押すと、字幕/音声/アングルを表示します。
③ 再度押すたびに、チャプター残時間、タイトル経過時間、タイトル残時間を表示します。

【VCD/CDの場合】
① [ディスプレイ］ボタンを一度押すと、ディスクの種類/曲番/総曲数/トラック経過時間を表示します。
② 再度押すたびに、トラック残時間、アルバム経過時間、アルバム残時間を表示します。

12. 音声切替

【DVDの場合】
［L/R］ボタンを押すたびに音声出力が切り替わります。
【CDの場合】
［L/R］ボタンを押すたびに「左側モノ音」/「右側モノ音」/「ステレオ」に音声出力が切り替わります。

13. アングル切替*

連続してボタンを押すとカメラアングルが切り換わります。
※この機能が含まれていないDVDでは使用できません。

14. コマ送り再生*

ボタンを押すたびに静止画再生をします。

15. A-B繰返し再生

① チャプター/トラック再生中に［A-Bリピート］ボタンを押すとAポイント（始点）を記憶します。
② 再び同ボタンを押すと、Bポイント（終点）を記憶します。
③ 再度同ボタンを押して機能をオフにするまで、A-B間の再生を繰り返します。

16. 再開

仮停止したところから再生を始めます。

17.繰返し再生

【DVDの場合】
［繰返し]ボタンを押すたびに、
リピート：[オフ]
リピート：[チャプター]
リピート：[タイトル]
と切り替わります。

【VCD/CDの場合】
［繰返し]ボタンを押すたびに、
リピート：[オフ]
リピート：[リピート[1]]
リピート：[リピート[ALL]]
に切り替わります。

18. ズーム*

①［ズーム］ボタンを押すごとに、映像を拡大/縮小できます。
② [方向]ボタンを押すと画像を移動します。

19. タイトル

タイトルメニューに戻ります。
※この機能が含まれていないディスクでは使用できません。

20. テレビ方式

テレビの入力方式を切り替えます。
本機は日本のテレビ方式NTSC方式に設定されています。

21. 消音

消音します。再度押すと元の状態に戻ります。

22. 音量調整

＋（プラス）/ー（マイナス）で調整します。

23. 初期設定

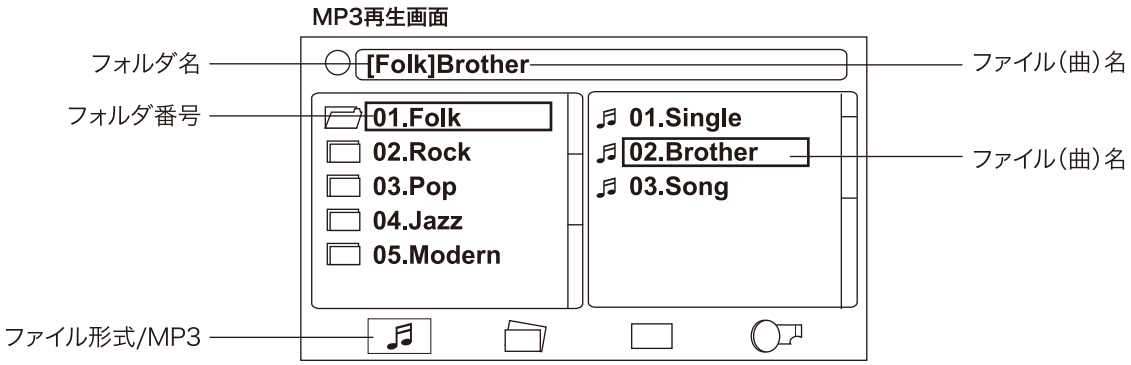
初期設定メニューになります。（14/15ページ参照。）

***マークのついた機能は、VCD/CDではご利用になれません。**

ディスクを再生する

MP3を再生するには

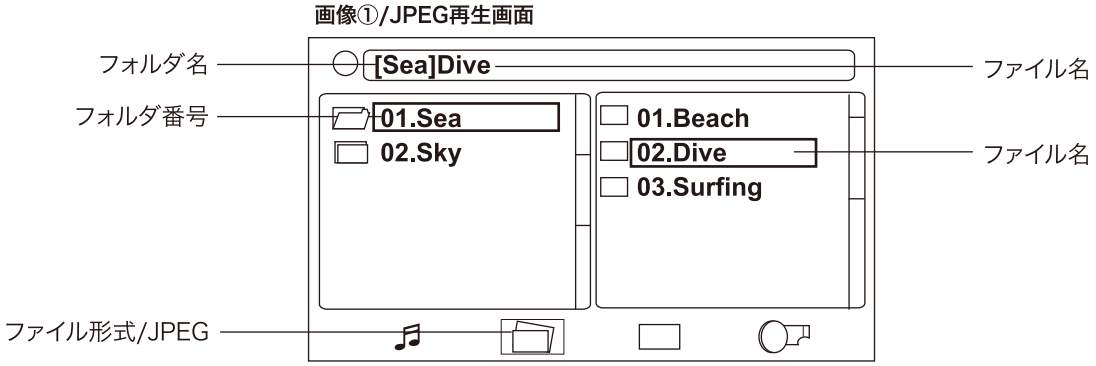
① 本体前面の[機能切替]スイッチを「CD/DVD」に合わせます。
② ディスクドアを開き、ディスクを「パチッ」と音がするまではめてセットし、ディスクドアを閉じます。
③ 画面に「読込」が表示された後、自動的に順に再生が始まります。
④ [方向]ボタンと[決定]ボタンで自由に曲を選んで再生できます。

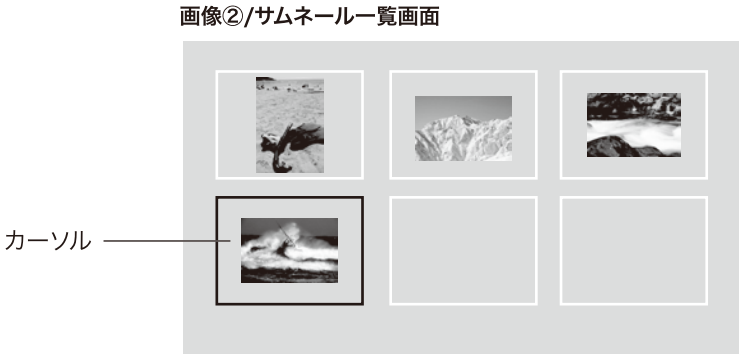


写真データ(JPEG)を再生するには

① 本体(内部前面の[機能切替]スイッチを「CD/DVD」に合わせます。
② ディスクドアを手前に開き、ディスクを「パチッ」と音がするまではめてセットし、ディスクドアを閉じます。
③ 画面に「読込」が表示された後、画像①が画面に表示されます。
[方向]ボタンと[決定]ボタンで写真を選びます。[スキップ]ボタンで前後の写真に移動します。
④ 画像①の状態で[メニュー]ボタンを押すと、最高6枚の写真を一覧できます(画像②/サムネール一覧機能)。
[方向]ボタンと[決定]ボタンでカーソルを移動させ、自由に写真を選んで再生できます。

＊容量が大きい写真データは読み込みに時間がかかります。



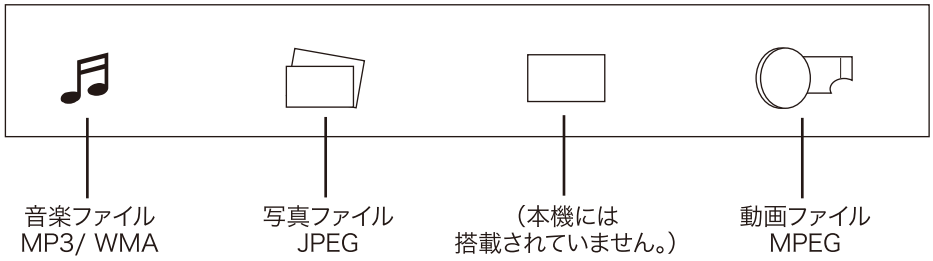


写真／音楽／動画ファイルが混在したディスクを再生するには

写真、音楽、動画ファイルが混在したディスクも再生できます。

① 本体前面の[機能切替]スイッチを「CD/DVD」に合わせます。
② ディスクドアを開き、ディスクを「パチッ」と音がするまではめてセットし、ディスクドアを閉じます。
③ 画面に「読込」が表示された後、メニュー画面が表示されます。MP3ファイルから自動的に順に再生が始まります。
④ 他のファイル形式に切り替えるには、[方向]ボタンで画面下にあるファイル形式のアイコンを選択し、[決定]ボタンを押します。

画面下アイコン表示



初期設定

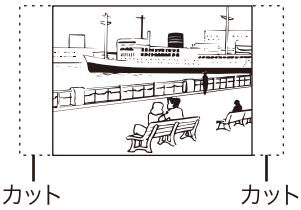
ディスクが停止している状態でリモコンの[設定]ボタンを押すと、初期設定画面が表示されます。 [方向]ボタンの左右で項目を選択し、[決定]ボタンを押すと、それぞれの設定メニューになります。 その後も同じく上下左右の[方向]ボタンと[決定]ボタンを使って設定を進めてください。 もう一度[設定]ボタンを押すと元の状態に戻ります。

システムセットアップ

テレビシステム
　NTSC

スクリーンセーバー
　ブラウン管焼き付防止のため、数分間使用されない場合、DVDロゴを画面上に表示します。
　オン/ オフ

テレビタイプ
　テレビの種類を選びます。
　○4：3PS 4:3画面テレビ（パンスキャン）
　　ワイド画像は映像の左右をカットして表示。

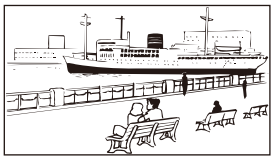


　通常のテレビ（4:3）に接続したときに選択してください。
　パンスキャンに対応したワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、ワイド画像の一部をカットして再生します。パンスキャンに対応しないワイド画像（16:9）のディスクではレターボックスで再生します。

　○4：3LB 4:3画面テレビ（レターボックス）
　ワイド画像は映像横長のまま、上下は黒く表示。

　通常のテレビ（4:3）に接続したときに選択してください。ワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、レターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。

　○16：9 16:9画面のワイドテレビ



　ワイドテレビ（16:9）に接続したときに選択してください。ワイド画像（16:9）のディスクを再生したとき、フル画像で再生します。

※ディスクによっては、本機でテレビの種類を設定しても、ディスクが指定しているモードで再生される場合があります。
※テレビに出力される映像は、ソフトや接続するテレビによって異なります。

暗証番号
　工場出荷時の設定は“0000”になっています。

レーティング
　成人用
　チャイルドロック
　制限なし

デフォルト
　復元：工場出荷時の設定に戻ります。

言語設定

画面表示言語
　英語
　ドイツ語
　スペイン語
　フランス語
　ポルトガル語
　日本語

オーディオ言語
　中国語
　英語
　日本語
　フランス語
　スペイン語
　ポルトガル語
　ラテン語
　ドイツ語

字幕言語
　中国語
　英語
　日本語
　フランス語
　スペイン語
　ポルトガル語
　ドイツ語
　オフ

メニュー言語
　中国語
　英語
　日本語
　フランス語
　スペイン語
　ポルトガル語
　ドイツ語
　ラテン語

オーディオ設定

マイクセットアップ
　マイクを使用するときは[オート]に合わせます。
　オート/オフ

キー
　♯+4, +2, 0 -2, -4♭

エコー
　8,　6,　4,　2,　OFF

マイク音量
　8,　6,　4,　2,　OFF

映像出力

数字を選択して、映像の調整ができます。
　ブライトネス
　　12,　10,　8,　6,　4,　2,　0

　コントラスト
　　12,　10,　8,　6,　4,　2,　0

　色合い
　　+6,　+4,　+2,　0,　-2,　-4,　-6

　色の濃さ
　　12,　10,　8,　6,　4,　2,　0

　シャープネス
　　8,　6,　4,　2,　0

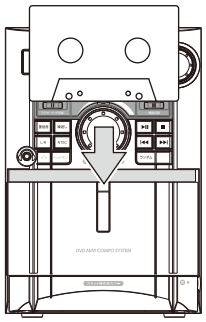
スピーカー設定

ダウンミックス
　LT/ RT:　左右ミックスモード
　ステレオ:　通常のステレオ

テープを聴く・録音する

テープを再生するには

① 本体前面の[機能切替]スイッチを「テープ」に合わせます。
② [カセット操作部]カバーを開けます。


磁気テープ面を下に

カセットテープ操作ボタン

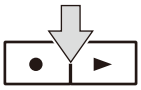
録 音　再 生　巻戻し　早送り 停止／取出 一時停止

③ [停止/取出]ボタンを押してカセットドアを開けます。
磁気テープ面を下にしてカセットテープを入れます。
(TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。)
④ [再生]ボタンを押すと再生します。
※本機は、誤動作を防ぐため、ボタンをしっかり押す構造になっています。押しにくい場合は、片手で本体を押さえながらボタンを押してください。

CD/DVD音声をテープに録音するには

① 本体前面の[機能切替]スイッチを「CD/DVD」に合わせます。
② [カセット操作部]カバーを開けます。
③ [停止/取出]ボタンを押してカセットドアを開けます。
磁気テープ面を下にしてカセットテープを入れます。
(TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。)
④ ディスクをセットし、再生できる状態にします。(9/10ページ参照。)
⑤ [カセット操作部]の[一時停止]ボタンを押し、[録音]ボタンと[再生]ボタンを同時に押します。
⑥ ディスクの[再生]ボタンを押してから、[カセット操作部]の[一時停止]ボタンを押すと録音がはじまります。

録音と再生の間を強く押す

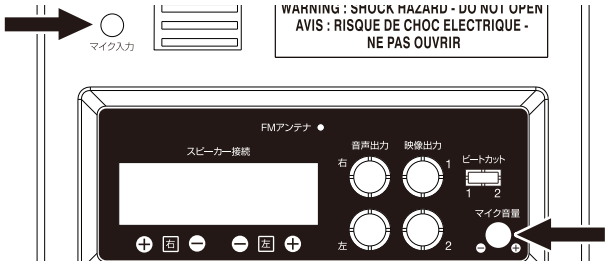


録 音　再 生

※本機は、誤動作を防ぐため、ボタンをしっかり押す構造になっています。押しにくい場合は、片手で本体を押さえながらボタンを押してください。

マイク音声をテープに録音するには　＊マイクはディスク再生時のみお使いいただけます。

① 本体前面の[機能切替]スイッチを「CD/DVD」に合わせます。
② [カセット操作部]のカバーを開けます。
③ [停止/取出]ボタンを押してカセットドアを開けます。
磁気テープ面を下にしてカセットテープを入れます。
(TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。)
④ ディスクが再生できる状態にします。(9/10ページ参照。)
⑤本体裏面の[マイク入力]に市販のマイクを接続します。
⑥ [カセット操作部]の[一時停止]ボタンを押し、
[録音]ボタンと[再生]ボタンを同時に押します。
⑦ ディスクの[再生]ボタンを押してから、[カセット操作部]の
[一時停止]ボタンを押すと録音がはじまります。
⑧ 本体裏面の[マイク音量]ツマミでマイク音量を調節します。



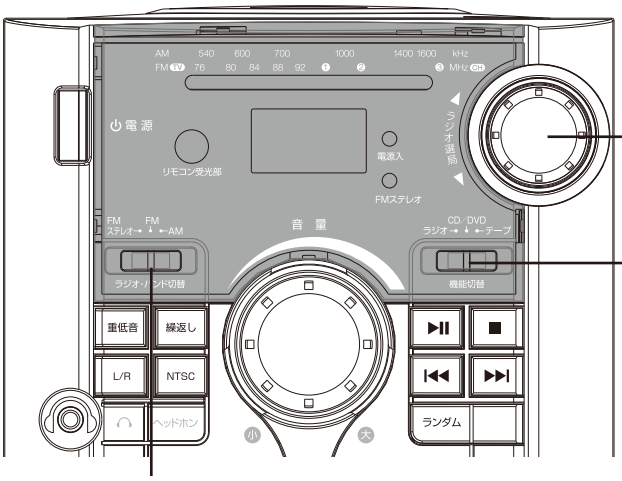
※本機は、誤動作を防ぐため、ボタンをしっかり押す構造になっています。押しにくい場合は、片手で本体を押さえながらボタンを押してください。

ご注意

・音量を変えても、録音される音量は変わりません。
・TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。
・カセットテープのツメが折れていないことを確認してください。ツメが折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。
・カセットテープが入っていないと、[録音]ボタンは押せません。
・カセットドアを開けた際に、カセット操作部カバーとの間に指を挟めないように気をつけてください。

ラジオを聴く・録音する

ラジオを聴くには



3. [ラジオ選局]ダイヤルでお好みのラジオ局に合わせます。

1. 本体前面の[機能切替]スイッチを「ラジオ」に合わせます。

2. 本体前面の[ラジオ・バンド切替]スイッチでAMもしくはFMを選びます。
FMステレオ：FMラジオをステレオ音声で受信します。
FM：FMラジオとテレビの1～3チャンネルを受信します。
AM：AMラジオを受信します。

ご注意

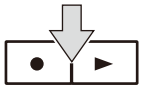
・本機はFMステレオ放送のみステレオで聴くことができます。
・ステレオ放送を受信したときに、本体前面の[FMステレオ]ランプが点灯します。
・受信状態をよくするには
FMラジオ、テレビの場合
FMアンテナを伸ばして受信状態のよい位置に合わせます。
AMラジオの場合
本体を受信状態のよい方向に向けます。
・2011年地上アナログ放送終了後は、テレビ音声の受信はできません。

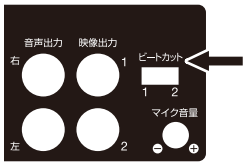
ラジオ音声をカセットテープに録音するには

① 本体前面の[機能切替]スイッチを「ラジオ」に合わせます。
② [カセット操作部]のドアを開けます。
③ [停止/取出]ボタンを押してカセットドアを開けます。磁気テープ面を下にしてカセットテープを入れます。
（TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。）
④ ラジオが受信できる状態にします。（上記参照。）
⑤ [カセット操作部]の[録音]ボタンと[再生]ボタンを同時に押します。
録音がはじまります。

※本機は、誤動作を防ぐため、ボタンをしっかり押す構造になっています。押しにくい場合は、
片手で本体を押さえながらボタンスピーカー部を押してください。
※ AM放送録音中にピーという音（ビート音）が気になるときは、本体背面にある
[ビートカット]スイッチを切り替えると軽減されます。
[1]もしくは[2]で軽減される方を選びます。

録音と再生の間を強く押す





ご注意

・音量を変えても、録音される音量は変わりません。
・TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。
・カセットテープのツメが折れていないことを確認してください。ツメが折れているテープに録音するときは、セロテープで穴をふさいでください。
・カセットテープが入っていないと、[録音]ボタンは押せません。
・カセットドアを開けた際に、カセット操作部カバーとの間に指を挟めないように気をつけてください。

故障かな？と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に、もう一度下記の内容をご確認ください。
ご不明な点があるときは、保証書にある総発売元へお問い合わせください。

症　状	対処方法
共通	
電源が入らない	・電源プラグをコンセントに挿してください。
音が聞こえない	・音量調節をしてください。 ・消音になっていないか確認してください。
音がひずむ	・音量を小さくしてください。 ・本機をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。
DVD/CD部	
ディスクの再生が始まらない “ノーディスク”が表示される 本機に“NOdが表示される	・ディスクが裏返しになっている →文字のある面を上にしてください。 ・本機の機能切替スイッチを“CD/DVD”に合わせてください。 ・カチッと音がするように、正しくディスクトレイにディスクをセットしてください。 （ディスクを軽く手で回転させ、水平に回転するか確認してください。） ・DVDドアがしっかりと閉まっていることを確認してください。 ・DVDの再生ボタンを押してください。 ・DVDレンズをブロワー（ゴミの吹き飛ばし用ブラシ）で清掃してください。 ・DVDレンズに露（水滴）がついている。 →ディスクを取り出し、DVDドアを開けて１時間ほどそのままにしておいてください。 ・ディスクが汚れている。→ディスクを清掃してください。 ・ファイナライズ処理（録画したレコーダー以外のプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないDVD-R/RWは再生できません。 ・DVD-R/RWは、ディスクや記録したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。 ・著作権保護技術付音楽ディスクは、再生できない場合があります。 ・VRモードで録画されたDVD-RWは再生できません。
ディスクの映像や音が出ない	・付属のAVケーブル（赤・白・黄）がテレビと正しく接続されているか確認してください。 ・テレビの入力切替が外部入力になっているか確認してください。
ディスクの映像や音が飛ぶ／正常な動作や表示ができない	・安定した場所に置いてください。 ・ディスクが汚れている →ディスクを清掃してください。
ラジオ部	
雑音が入る	・周波数を正しく合わせてください。 ・アンテナの向きを調節してください。 ・本機の向きを調節してください。
リモコン	
リモコンで操作できない	・リモコンの電池が消耗していたら、新しい電池と交換してください。 ・リモコンを本機に向けて操作してください。

カセットテープ部

カセットテープが入らない	・カセットテープの磁気テープ面を下にして入れてください。
カセットテープが回転しない	・カセットテープをカセットデッキに正しく入れてください。
カセットテープが機械に巻きつく	・市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを清掃してください。 ・カセットテープの弛みを直してください。 ・両面で60分以内のカセットテープをご使用ください。
早送り・巻き戻しが遅い/回転むらがある	・カセットテープの回転具合を確認し、回転の重いテープは使用しないでください。
再生音が小さい/再生音が割れる/高音が出ない/雑音/音が震える/音が飛ぶ	・市販のヘッドクリーナーでヘッドを清掃してください。 ・新しいカセットテープと交換してください。
録音状態にならない 前に録音されている音が完全に消えない	・カセットデッキにカセットテープが入っているか確認してください。 ・TYPE1（ノーマル）テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。 ・誤消去防止用ツメが折れている →ツメの付いているカセットテープと交換するか、セロハンテープなどでツメの穴をふさいでください。 ・市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。

マイク部

マイクの音が出ない	・マイクコードと本機のマイク入力端子を正しく接続してください。 ・マイク本体のスイッチをオンにしてください。 ・本機のマイク音量ツマミで音量を調節してください。 ・初期設定の[オーディオ設定]にある[マイクセットアップ]を“オート”に設定してください。

お手入れのしかた

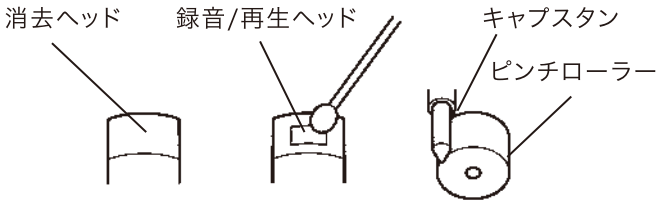
●本体
本体は、乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤の水溶液に浸した布を固く絞ってふいてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。変色や変質の恐れがあります。

●レンズ部のクリーニング
クリーニングの前に必ず電源を切ってください。
レンズの汚れが原因で音飛びが起きたり、演奏ができなくなった場合にクリーニングしてください。
◎ゴミやほこりがついた場合
市販のブロワーでレンズを2，3回吹き、ブロワー先端のブラシでゴミをはき出します。最後にもう一度、ブロワーでレンズを吹いてください。
◎指紋などがついた場合
ブロワーで汚れがとれないときには、市販のレンズクリーナー液を綿棒につけ、レンズの中心から外側に向かって円を描くように拭いてください。

※クリーナー液を綿棒につけすぎないようにご注意ください。クリーナー液が本体内部に流れ込むと、故障の原因になります。
レンズは軽く拭いてください。綿棒を強く押しつけると、レンズに傷がつくことがあります。

●カセットテープ
ヘッド、ピンチローラー、キャプスタン（カセット収納部）を清掃するには
カセットテープを良い音でお楽しみいただくために、ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをいつもきれいにしておいてください。これらが汚れていると、音が歪んだり小さくなったり、録音できない、などの現象が起こります。このようなときは次の手順で清掃してください。

1. [停止/取出]ボタンを押してカセットドアを開けます。カセットテープが入っているときは取り出します。
2. 綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをていねいにふいてください。
3. カセットテープの使用はヘッド、ピンチローラー、キャプスタンが乾いてからにしてください。



保証書とアフターサービス

保証書は必ず「お買い上げ日・お買い上げ店名」などの記入をご確認の上、販売店からお受け取りください。
以下の内容をよくお読みいただいた後、大切に保管してください。

保　証　書

本商品が故障した場合は、下記に明示した期間、及び条件の下において無料修理あるいは交換をいたします。

商品名	DVDミニコンポシステム　商品型番：M789A
保証期間	お買い上げ日から１年間　（ お買い上げ日　　年　　月　　日 ）
お買い上げ店	
お客様お名前	
ご住所	
お電話番号	
故障の症状	

[無料保証規定]
・正常な状態（取扱説明書に従った状態）で故障した場合には、本体商品を無料で修理又は交換させていただきます。
・保証期間はお買い上げ日より1年間となります。
・故障の場合は本保証書に状況をご記入いただき、商品と一緒にお送りください。
・使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、損傷は保証の対象外となります。
・お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷は保証の対象外となります。
・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、指定以外の電源（電圧、電流、周波数）による故障および損傷は保証の対象外となります。
・保証書にお買い上げの年月日、お買い上げの販売店名の記入がない場合は保証の対象外となります。
・この保証書は日本国内においてのみ有効です。
・この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
※本保証書は保証規定により、無償修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※お客様の個人情報は、商品に関するご質問や故障の際、お客様と連絡を取るためにのみ使用するものです。
※商品の仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
※本保証書はお客様のご購入の証明になりますので、販売店・日付が入った書類等、購入履歴が分かる控えと一緒に大切に保管してください。
※本製品は一般家庭用に設計されておりますので、業務用でご使用された際の不具合に関しては、保証の対象外となります。

輸入・総発売元：
株式会社 クマザキエイム
〒222-0013　横浜市港北区錦が丘12-17
TEL：045-401-7486
FAX：045-435-0057
E-mail：info@kumazaki-aim.co.jp
URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp

200905